



**J A グリーン大阪**  
アグリゾーンの桃の花が満開!

JAグリーン大阪  
アグリゾーンの桃の花が満開!

JAグリーン大阪本店のアグリゾーン(農地エリア)にて、稻田

桃が満開となつた。桃が満開となつた桃は、

南北に流れる恩智川沿い、菜の花が満開を

迎え、全長約8キロメートルにも及ぶ色鮮やかな黄色いじゅうたん

が市民の目を楽しませている。

この菜の花は、恩智川の水質浄化などに取り組むNPO東大阪市環境カウンセラーアーク(松浦陽子代表・会員)

(現・NPO東大阪市環境カウンセラーアーク)が平成16年10月に開催した「新池島ボンブ場開会」を立ち上げた。川を管理する大阪府屋同工営所の職員や周辺自治会などの協力を得て、新池島ボンブ場開会を立ち上げた。川のべりから約50メートル南に渡って、雜草を抜き、土を耕して、見事美しい菜の花の範囲が完成して、地域住民と協働して種をまき育てたもので、今では全長約8キロメートルまで広がった。現在では恩智川の流れれる八尾市でもわかつて黄色い花を咲かせるまでに成長している。

平成15年当時、恩智川にはオナモミなどの雜草が生い茂つておがつた。現在では恩智川の流れれる八尾市でもわかつて黄色い花を咲かせた。この作業を平成20年まで地道に続けた結果、見事美しい菜の花を見ることがで

た。市内の川の水質調査などを行なう同市生活環境課は、府内だけでなく

丁目5-50  
・場所: JAグリーン大阪本店  
(東大阪市荒本北1)

# 東大阪市 防災システム運用の開始式



防災システム起動のボタンを押す野田市長

東大阪市防災システム運用開始式—東大阪市が平成25年度から整備してきた東大阪市防災システムが平成26年3月31日に完成し、4月7日、同システムの一環として市役所本庁5階に整備された危機管理センターで運用開始式が行われた。

## 市民の安心・安全に寄与 行政無線のデジタル化と防災拠点整備

東大阪市防災システム運用開始式—東大阪市が平成25年度から整備してきた東大阪市防災システムが平成26年3月31日に完成し、4月7日、同システムの一環として市役所本庁5階に整備された危機管理センターで運用開始式が行われた。



発行所  
株式会社 東大阪新聞社

第6844号

〒577-0802

東大阪市小阪本町1-1-7

エフエスビル2F

編集 分室

電話: FAX(072)991-3908

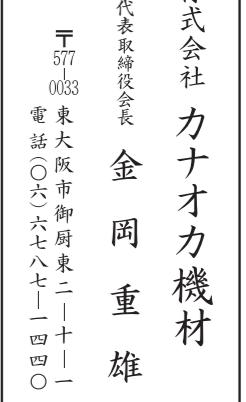
-----\*-----\*

八尾柏原支社

〒581-0016

八尾市八尾木北3-137

電話 (072) 993-2037



株式会社 カナオカ機材

代表取締会長 金 岡 重 雄

〒577-0033 東大阪市御厨東二丁目一十一番地

電話 (06) 677-871-440

-----\*-----\*

同システムは、防災体制の強化と市民の安全確保を目的に、平成25年6月14日から整備を開始。工事費用総額は12億4,950万円で、費用総額には国の「防災・安全社会資本整備」においては、これまでに行政無線のデジタル化」と「防災拠点整備」においては、これまでにアナログ式だったシステムをデジタル式にす

るとともに、市内全域においては、これまでに行政無線のデジタル化」と「防災拠点整備」においては、これまでにアナログ式だったシス

トをデジタル式にす

るとともに、市内全域

に災害情報などを放送する屋外スピーカーを設置した。デジタル化によって通信の安定が確

保されるのに加えて、Jアラートやエリヤメ

リルとの連携が可能になり市民に素早い情報提供を行うことができる

一方、防災拠点は本

院内に整備され、

分散して防災機能を

を集約し、災害発生時

には対策本部として活

用する。およそ70名が

この日行われた運用

同時に、会議可能な会議

室には、気象監測装置

からのデータや土砂災

害用の監視カメラなど

を多数備えている。

この日行われた運用

による訓練などを行

るよう、訓練などを行

るところがあたたかい感動を

おもてなし感動を

